



令和6年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和6年2月13日

上場会社名 ジョルダン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3710 URL <https://www.jorudan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 俊和
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 岩田 一輝 (TEL) 03-5369-4051
 四半期報告書提出予定日 令和6年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年9月期第1四半期の連結業績(令和5年10月1日~令和5年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年9月期第1四半期	694	7.3	△99	—	△149	—	△126	—
5年9月期第1四半期	647	9.6	△26	—	△96	—	△69	—

(注) 包括利益 6年9月期第1四半期 △135百万円(—%) 5年9月期第1四半期 △85百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年9月期第1四半期	△24.85	—
5年9月期第1四半期	△13.57	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年9月期第1四半期	5,491	4,490	81.3
5年9月期	5,704	4,660	81.2

(参考) 自己資本 6年9月期第1四半期 4,462百万円 5年9月期 4,631百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年9月期	—	0.00	—	6.00	6.00
6年9月期	—	—	—	—	—
6年9月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年9月期の連結業績予想(令和5年10月1日~令和6年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,700	4.4	70	17.0	80	373.7	110	—	21.57
通期	3,100	3.2	50	—	70	3.8	100	—	19.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

6年9月期1Q	5,255,000株	5年9月期	5,255,000株
6年9月期1Q	154,280株	5年9月期	154,280株
6年9月期1Q	5,100,720株	5年9月期1Q	5,100,720株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢、市場動向に関わるリスクや不確定要因等により変動する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（令和5年10月1日～令和5年12月31日）におきましては、わが国の景気は一部に足踏みも見られるものの緩やかに回復してまいりました。但し、世界的な金融引き締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念等、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっております。

情報通信業界におきましては、企業のソフトウェア投資は増加が続いており、情報サービス業及びインターネット附随サービス業の売上高についても前年同四半期（令和4年10月1日～令和4年12月31日）と比べ増加となりました。また、1世帯当たりのインターネットを利用した支出についても増加となりました。このような中、生成AIを始めとするAI（人工知能）技術の高度化・実用化の進展等、情報通信に関する市場環境の変化は更に加速してまいりました。また、交通サービスの領域におきましても、「MaaS（Mobility as a Service）」（モビリティのサービス化）の流れが進展してまいりました。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響を契機とした移動や外出についての質的・量的変化は、「MaaS」の展開にも大きな影響を与えております。

当社グループにおきましても、この市場環境の変化に対応した事業展開のための基盤整備に取り組んでおり、「乗換案内」の各種インターネットサービスは多くの方々に広くご利用いただくに至っております。新型コロナウイルス感染症の影響等も無くなり、現状では訪日旅行者の増加等を含め人々の移動需要の持ち直しは続いており、今後の更なる増加にも期待を持てる状況となっております。

このような環境の中で、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は694,564千円（前年同四半期比7.3%増）、営業損失は99,904千円（前年同四半期は26,614千円の損失）、経常損失は149,964千円（前年同四半期は96,363千円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は126,750千円（前年同四半期は69,229千円の損失）という経営成績となりました。

売上高につきましては、ハードウェア事業セグメントの売上高が大きく増加し、加えて乗換案内事業セグメント及びソフトウェア事業セグメントの売上高についても増加したこと等により、全体として前年同四半期と比べ増加いたしました。営業損益につきましては、利益率の高い事業の売上高の減少やハードウェア事業セグメントにおける販売費及び一般管理費の増加等の影響が大きく、前年同四半期と比べ損失が拡大いたしました。経常損益及び親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、為替差損は減少したものの、営業損失の増加の影響が大きく、前年同四半期と比べ損失が拡大いたしました。

セグメント別の経営成績の状況は、次のとおりです。

乗換案内事業

乗換案内事業では、モバイル向け有料サービス等の売上高が前年同四半期と比べ減少したものの、法人向けの事業や広告等の売上高がやや増加し、加えてモバイルチケット等の売上高も増加したこと等により、セグメント全体の売上高もやや増加いたしました。一方で、各事業の利益率の違いや法人向けの事業における売上原価の増加等の影響が大きく、セグメント全体の利益は減少いたしました。

それらの結果、売上高562,383千円（前年同四半期比1.4%増）、セグメント利益12,245千円（前年同四半期比55.4%減）となりました。

マルチメディア事業

マルチメディア事業では、売上高は前年同四半期と比べ減少いたしました。また、これに伴い、セグメント全体の損失もやや拡大いたしました。

それらの結果、売上高1,496千円（前年同四半期比57.7%減）、セグメント損失3,977千円（前年同四半期は2,679千円の損失）となりました。

ソフトウェア事業

ソフトウェア事業では、案件の受注・納品が順調に推移したこと等により、セグメント全体の売上高は増加いたしました。一方で、費用についても増加しており、セグメント全体の利益は減少いたしました。

それらの結果、売上高108,307千円（前年同四半期比8.9%増）、セグメント利益7,664千円（前年同四半期比60.0%減）となりました。

ハードウェア事業

ハードウェア事業では、前年同四半期末から株式会社エアーズを連結の範囲に含めた（前年同四半期の経営成績には同社の業績が含まれていない）影響等により、セグメント全体の売上高は前年同四半期と比べ大きく増加いたしました。一方で、販売費及び一般管理費を中心に費用も大きく増加したため、セグメント全体の損失も大幅に拡大いたしました。

それらの結果、売上高45,483千円（前年同四半期比85.4%増）、セグメント損失48,818千円（前年同四半期は955千円の損失）となりました。

その他

その他セグメントにおきましては、売上高・損益ともに前年同四半期とほぼ同程度となりました。

それらの結果、売上高2,463千円（前年同四半期比2.4%減）、セグメント損失722千円（前年同四半期は1,053千円の損失）となりました。

なお、上記のセグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を相殺しておりません。また、セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書における営業損益をベースとしておりますが、各セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間の内部取引費用の控除前の数値であり、合計は連結営業損益と一致しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末（令和5年9月末）と比較しますと、資産は213,416千円減の5,491,282千円、負債は43,596千円減の1,000,785千円、純資産は169,820千円減の4,490,497千円となりました。

資産

資産は、流動資産につきましては、242,237千円減の3,892,119千円となりました。これは、現金及び預金が169,074千円減の3,112,742千円、貸倒引当金が27,544千円増の83,784千円となったこと等によるものです。現金及び預金の減少は、配当金、賞与及び法人税等の支払並びに四半期純損失の発生等によるものです。貸倒引当金の増加は、ハードウェア事業に係る特定の債権について新たに貸倒引当金を計上したこと等によるものです。

固定資産につきましては、28,821千円増の1,599,163千円となりました。これは、有形固定資産が5,256千円増の767,776千円、無形固定資産が4,040千円減の112,796千円、投資その他の資産が27,605千円増の718,590千円となったことによるものです。有形固定資産及び無形固定資産は、取得に伴う増加の一方で償却等による減少も進み、全体としては大きな金額の変動はありませんでした。投資その他の資産は、繰延税金資産の増加等により、増加いたしました。

負債

負債は、流動負債につきましては、41,097千円減の951,767千円となりました。これは、支払手形及び買掛金が22,326千円増の265,089千円、その他が32,197千円増の104,231千円となった一方で、未払法人税等が36,073千円減の9,375千円、契約負債が28,610千円減の434,957千円、賞与引当金が27,420千円減の13,825千円となったこと等によるものです。支払手形及び買掛金の増加は、売上原価の増加等によるものです。その他の増加は、預り金の増加等によるものです。未払法人税等の減少は、法人税等の支払等によるものです。契約負債の減少は、ハードウェア事業に係る契約負債が大きく減少したこと等によるものです。賞与引当金の減少は、賞与の支払等によるものです。

固定負債につきましては、2,499千円減の49,017千円となりました。

純資産

純資産は、株主資本につきましては、159,902千円減の4,409,537千円となりました。これは、利益剰余金が157,354千円減の3,801,728千円となったこと等によるものです。利益剰余金の減少は、親会社株主に帰属する四半期純損失の発生並びに剰余金の配当によるものです。

その他の包括利益累計額につきましては、8,926千円減の53,398千円となりました。

非支配株主持分につきましては、991千円減の27,561千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,281,817	3,112,742
受取手形、売掛金及び契約資産	654,879	643,794
商品及び製品	8,088	5,797
仕掛品	150	150
原材料及び貯蔵品	40	40
前渡金	56,251	38,021
その他	189,371	175,358
貸倒引当金	△56,240	△83,784
流動資産合計	4,134,357	3,892,119
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	278,473	280,300
機械装置及び運搬具（純額）	5,728	9,219
工具、器具及び備品（純額）	62,952	62,892
土地	415,365	415,365
有形固定資産合計	762,520	767,776
無形固定資産		
ソフトウェア	115,308	111,267
その他	1,528	1,528
無形固定資産合計	116,836	112,796
投資その他の資産		
投資有価証券	422,941	422,808
敷金及び保証金	163,177	163,068
長期貸付金	940	2,680
繰延税金資産	34,587	67,636
その他	73,574	66,631
貸倒引当金	△4,235	△4,235
投資その他の資産合計	690,985	718,590
固定資産合計	1,570,342	1,599,163
資産合計	5,704,699	5,491,282

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	242,762	265,089
1年内返済予定の長期借入金	15,636	14,226
リース債務	7,118	5,397
未払費用	75,208	78,245
未払法人税等	45,448	9,375
未払消費税等	27,787	26,069
契約負債	463,567	434,957
賞与引当金	41,245	13,825
役員賞与引当金	1,400	350
受注損失引当金	656	-
その他	72,034	104,231
流動負債合計	992,865	951,767
固定負債		
長期借入金	32,732	30,233
リース債務	16,306	16,306
その他	2,478	2,478
固定負債合計	51,516	49,017
負債合計	1,044,381	1,000,785
純資産の部		
株主資本		
資本金	277,375	277,375
資本剰余金	454,515	451,968
利益剰余金	3,959,083	3,801,728
自己株式	△121,534	△121,534
株主資本合計	4,569,439	4,409,537
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	62,325	53,398
その他の包括利益累計額合計	62,325	53,398
非支配株主持分	28,552	27,561
純資産合計	4,660,318	4,490,497
負債純資産合計	5,704,699	5,491,282

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和4年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和5年12月31日)
売上高	647,519	694,564
売上原価	365,631	423,568
売上総利益	281,887	270,996
販売費及び一般管理費	308,502	370,900
営業損失(△)	△26,614	△99,904
営業外収益		
受取利息	199	133
貸倒引当金戻入額	-	336
受取事務手数料	81	81
助成金収入	1,080	-
受取家賃	2,061	1,941
雑収入	298	986
営業外収益合計	3,721	3,479
営業外費用		
支払利息	5	433
持分法による投資損失	276	279
為替差損	70,337	51,896
賃貸収入原価	827	931
雑損失	2,024	0
営業外費用合計	73,470	53,540
経常損失(△)	△96,363	△149,964
特別利益		
固定資産売却益	-	582
特別利益合計	-	582
特別損失		
固定資産除却損	77	-
減損損失	-	1,625
特別損失合計	77	1,625
税金等調整前四半期純損失(△)	△96,441	△151,007
法人税等合計	△26,365	△24,385
四半期純損失(△)	△70,075	△126,622
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△846	127
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△69,229	△126,750

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和4年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和5年12月31日)
四半期純損失(△)	△70,075	△126,622
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△15,858	△9,017
その他の包括利益合計	△15,858	△9,017
四半期包括利益	△85,934	△135,640
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△84,871	△135,677
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,063	37

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 令和4年10月1日 至 令和4年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乗換案内 事業	マルチ メディア事業	ソフト ウェア事業	ハード ウェア事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	553,102	3,536	63,820	24,535	644,994	2,524	—	647,519
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,519	—	35,674	—	37,193	—	△37,193	—
計	554,622	3,536	99,494	24,535	682,188	2,524	△37,193	647,519
セグメント利益又は 損失(△)	27,462	△2,679	19,183	△955	43,011	△1,053	△68,572	△26,614

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連機器リース業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変更)

「ハードウェア事業」セグメントにおいて、株式会社エアーズの株式を取得したことに伴い、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象による当第1四半期連結累計期間におけるのれんの増加額は、202,035千円であります。

当第1四半期連結累計期間(自 令和5年10月1日 至 令和5年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乗換案内 事業	マルチ メディア事業	ソフト ウェア事業	ハード ウェア事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	562,383	1,496	82,737	45,483	692,101	2,463	—	694,564
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	25,569	—	25,569	—	△25,569	—
計	562,383	1,496	108,307	45,483	717,670	2,463	△25,569	694,564
セグメント利益又は 損失(△)	12,245	△3,977	7,664	△48,818	△32,886	△722	△66,295	△99,904

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連機器リース業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ハードウェア事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失1,625千円を計上しております。